

教授会議事要旨

日 時：令和元年7月2日（火）15時10分～15時35分

場 所：本館2階会議室

出席者：中野センター長、青井、野海、福田、保坂、與曾井 各教授・味村、石井、井手口、梅原、郡、嶋 各准教授・王、依田 各講師・池田、小林、白鳥、外川、友野、堀田 各助教

欠席者：佐藤教授・岩崎、緒方、住濱、民井、永廣 各准教授・神田、田村 各講師・菅谷、高久、樋口、RYU 各助教

陪席者：能町教授、鈴木助教、佐藤助教、黒澤助教、吉田技術専門職員、浅井事務長、松下庶務係長、坂手研究協力係長、蔭山会計係長

議 題：

I. 報告事項

1. 各種委員会等について

- (1) 国際交流委員会（5月21日及び6月25日）＜能町教授＞
- (2) 吹田地区事業場安全衛生委員会（6月7日）＜井手口准教授＞
- (3) 核物理研究センター安全衛生委員会（6月13日）＜井手口准教授＞
- (4) 理工情報系戦略会議（6月19日）＜中野センター長＞
- (5) 教育研究評議会（6月19日）＜中野センター長＞
- (6) 部局長会議（6月19日）＜中野センター長＞

以上、メールにて事前報告済

2. 2019年度各種委員会委員等の選出について

資料1に基づき、2019年度各種委員会委員等の選出について報告があった。

3. その他

- (1) COREnet プログラム公募の申請状況について報告があった。
- (2) 8月7日開催のネットワーク・セキュリティ講習会の参加依頼があり、テレビ会議でも参加可能となる予定との報告があった。
- (3) 先般実施された標的型攻撃メール訓練について、クリックした人が前年より増加し、その方々には個別にメール連絡することの報告があった。
- (4) めばえ適塾の一部の生徒に対して8月中旬から9月にかけて計3回、本館の研究開発室1で講義を行うことの報告があった。
- (5) 梅原特任准教授（常勤）が活動している「地下素核」領域が、さらに研究対象を拡充して、新学術「地下宇宙」領域として採択された旨の報告があった。

II. 前回教授会議事録（案）について

事前に送付していた令和元年6月5日開催の教授会議事録(案)について、意見等があれば本日まで連絡願うこととした。（同日までに連絡はなく原案のとおり確定した。）

Ⅲ. 協議事項

1. クロス・アポイントメント制度に関する協定について

資料2に基づき、以下のクロス・アポイントメント制度に関する協定について説明があり、審議の結果、承認された。

- ・国内 新規1件 名古屋大学
- ・海外 新規1件 Joint Institute for Nuclear Research (JINR)

2. 教員人事について

資料3に基づき説明があり、審議の結果、特任教授（常勤）1名の新規採用が承認された。

3. 放射線取扱主任者がその職務を30日未満の期間行えない場合の代理者について

資料4に基づき、放射線取扱主任者がその職務を30日未満の期間行えない場合の代理者6名の指名について説明があり、続いて、鈴木助教から補足の説明があり、審議の結果、承認された。

4. 協同研究員の受入れについて（追加）〈センター長〉

以下協同研究員の受入れ3名の追加について説明があり、審議の結果、承認された。

- (1) プロジェクト・責任者：微視的反応理論を用いた散乱観測量の研究・緒方准教授
①所属・氏名：RCNP・Jagjit Singh
- (2) プロジェクト・責任者：Belle/Belle IIにおけるハドロン物理研究・中野教授
①所属・氏名：東京大学地震研究所・増田 正孝
- (3) プロジェクト・責任者：格子QCDによるハドロン間相互作用の研究・石井准教授
①所属・氏名：RCNP・河野 泰宏

5. その他

- (1) 国際共同利用プロジェクトの関連で8月にワークショップを開催するが、RCNPの主催または関係機関との共催で実施したい旨の説明があり、審議の結果、承認された。
- (2) 理工情報系オーナー大学院プログラムのカリキュラムが検討されているが、そのなかの研究室ローテーション（所属外の学生を研究室で短期間受け入れる）について、本センターでは全教授を研究室のリストに加えたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。
- (3) このたび改正を行った放射線障害予防規程について、8月30日までに危険時の事前対策を記載する必要があるが、現在、本センターは改修工事中であるため、加速器の出力が事前対策の対象外になるように軽微変更を届け出た上で、加速器の再開に合わせて出力の増強の変更申請をした後、この改正を行いたい旨の説明があり、審議の結果、承認された。